

揖保川水系直轄総合水系環境整備事業

水環境整備事業について

- 揖保川・林田川における底泥浚渫・固化処理
- 林田川の流況改善のための揖保川導水
- 揖保川・林田川におけるワンド

自然再生事業について

- 蟠洞川樋門周辺整備
- 中川河原再生
- 横堰魚道改築

河川利用推進事業について

- 揖保川水辺の楽校
- 北村・北龍野地区における親水護岸整備
- 揖保川水辺プラザ
- 揖保川下流域における散策路ネットワーク

水涸れの林田川 真砂橋より撮影



蟠洞川樋門周辺整備で保全された河畔林



揖保川水辺の楽校全景



揖保川水系直轄総合水系環境整備事業 事業再評価（H20. 2. 26）について

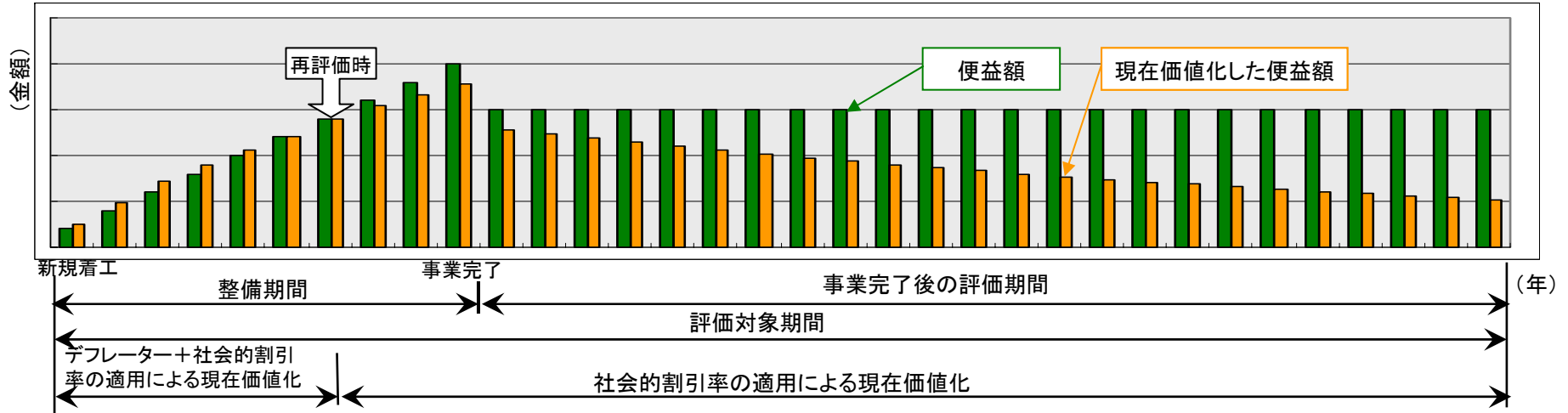
B／Cについて

- ・ 昭和51年度から平成7年度までの各年度の事業費について、現在価値化されていない。
- ・ TCM（旅行費用法）による便益の算定について、自動車等の燃費代を算定するに当たって、1台の自動車等に複数人が乗車して整備箇所を訪れている場合が想定されることから、自動車等台数を用いて算定すべきであるところ、自動車等利用者数を用いて算定している。

● 総便益の算出(B)

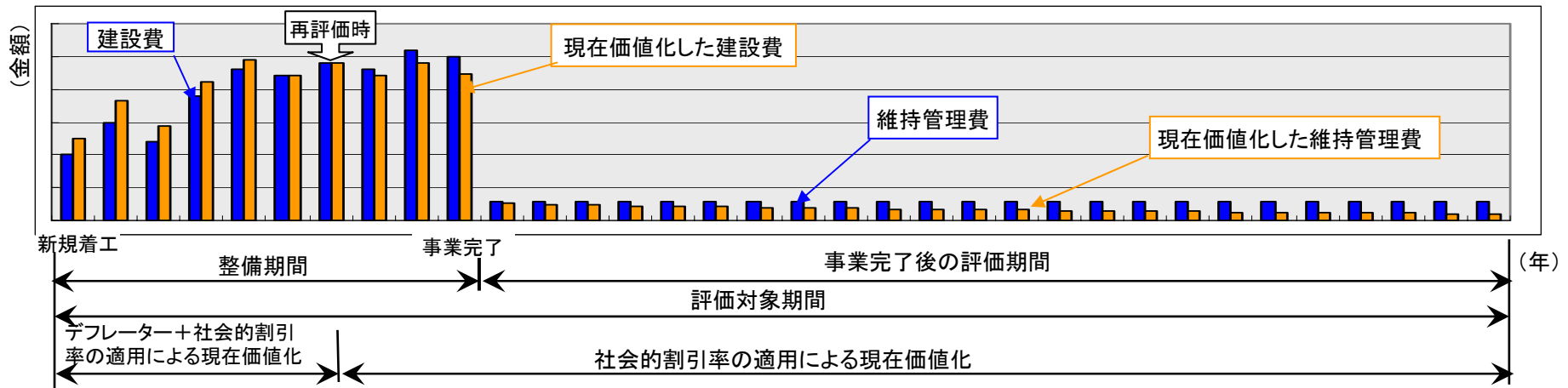
総便益は、割引率4%を用いて現在価値化した便益額を、評価対象期間(整備期間+事業完了後の評価期間)において累積し算定。

総便益の算定にあたっては、残存価値も加算する。



● 総費用の算出(C)

総費用は、建設費に維持管理費を加えたものを現在価値化し、算定する。



1) 事業全体(残事業を含めた場合) ※ □内はH19再評価時の数値

基準年 平成19年度

便 益 (B) 542.5億円 [372.4億円] (基準年での現在価値)

費 用 (C) 186.9億円 [114.0億円] (基準年での現在価値)

算定結果 $B/C = 542.5 \text{億円} / 186.9 \text{億円}$
 $= 2.90$ [3.27]

2) 事業目的別(残事業を含めた場合)

事業区分	(B) 便益額(億円)	(C) 事業費(億円)	B/C
水環境改善	430.2 [272.2]	141.2 [73.1]	3.05 [3.73]
自然再生	2.39 [2.02]	1.73 [1.88]	1.38 [1.08]
河川利用推進	109.9 [98.1]	43.9 [39.1]	2.50 [2.51]

3) 参考(残事業のみ)

基準年 平成19年度

※□内はH19再評価時の数値

便 益 (B) 5.06億円 [5.55億円] (基準年での現在価値)

費 用 (C) 3.09億円 [3.29億円] (基準年での現在価値)

算定結果 $B/C = 5.06 \text{億円} / 3.09 \text{億円}$
 $= 1.64$ [1.68]